



図書館へ行こう!

開館時間：火～金…9:00～18:00

土・日…9:00～17:00

休館日：毎週月曜日、毎月末日、祝日

問い合わせ先：阿蘇図書館 TEL32-0067 一の宮図書館 TEL22-2916

Library Information
ライブラリー インフォメーション

おはなしアップルの 春のおたのしみ会

楽しいおはなし会です。
どなたでもお気軽にお越し
ください。

日時：3月27日(土曜日)

午後2時より

場所：阿蘇図書館研修室

内容：エプロンシアター、
パネルシアター、
紙芝居 等

*入場無料



春といえば桜。『徒然草』でおなじみの吉田兼好は、桜について次のように記しています。

花は盛りに、月は隈なきをのみ、見るものかは。咲きぬべきほどの梢、散り萎れたる庭などこそ、見所多けれ。万の事も、始め終りこそをかしけれ。

花の盛りは、冬至より百五十日とも、時正の後、七日とも言へど、立春より七十五日、大様違はず。

桜は満開の時だけでなく、咲き始めや散った後に趣がある。開花を心待ちにし、親しい人々と共に満開の桜を楽しみ、花の散り行く姿を惜しむ、古の人も現代の私たちと変わらない気持ちであったことが分かります。

また、桜の見頃が旧暦の冬至より150日、春分の日の後7日、立春より75日というように具体的にデータとしてあったようです。毎年、気象庁が発表してきた桜前線は、今年からいくつかの民間企業が行うそうです。それほど、誰もが早く、より正確に知りたい情報なのでしよう。桜に関する本でも読みながら、開花宣言を楽しみにされてはいかがでしょう。

【桜に関する本】

- 『おもしろくてためになる桜の雑学事典』 著：井筒清次
- 『桜は一年じゅう日本のどこかで咲いている』 写真・文：印南和磨
- 『全国桜の名木100選』 著：大貫茂
- 『徒然草』 著：吉田兼好
- 『ちくま日本文学全集』 著：梶井基次郎 など

波野中学校ALT

巖木 ジェイニーさん

ALT(英語指導助手)活動日誌

春は「別れと出会いの季節」



春がもうすぐそこまで来ています。もう少しすると桜の季節ですね。今年の冬もとても寒く、ロシアでは-25度を下回る日もあったようです。逆にオーストラリアでは例年になく暑い日が続いたそうです。私の故郷のイギリスでは30年ぶりに雪の多い冬となり、2週間もの間、雪により交通が遮断され、孤立した村もあったそうです。私の母はまるで一昔前のようだと言っていました。

日本の3月は、いろいろなことが変わる季節のように感じます。多くの人が転職や転職、引越しをし、学校では進級、卒業の時季です。私が勤務している波野中学校の3年生も卒業して次の人生のステップを踏み出します。

卒業式が近づき、3年生が中学校に入学したときに撮った写真を改めて見直すと、みんな立派に成長したものだと感じます。生徒たちと別れることはとてもさみしいですが、卒業後もそれぞれの進路でがんばってほしいです。

一方、来春中学校に入学してくる子どもたちもいます。小学校の卒業式で、これから中学生生活を迎える子どもたちの制服姿を見るのが楽しみです。

日本の春は「別れと出会いの季節」といわれますが、私にとっては、本当に楽しいことが多い季節です。